



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 サノヤホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7022 URL <http://www.sanovas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 多田 勤

TEL 06-4803-6171

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,133	△26.9	2,222	△57.5	2,200	△59.1	1,029	△57.3
25年3月期第3四半期	45,328	△16.9	5,224	29.2	5,374	33.9	2,411	265.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,882百万円 (△21.6%) 25年3月期第3四半期 2,401百万円 (804.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	31.61	—
25年3月期第3四半期	74.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	68,884	17,913	24.7
25年3月期	69,454	16,193	22.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 17,039百万円 25年3月期 15,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△20.4	1,100	△75.0	800	△81.7	100	△76.6	3.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Sanoyas Rides Australia Pty Ltd 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	32,600,000 株	25年3月期	32,600,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	22,425 株	25年3月期	22,365 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	32,577,611 株	25年3月期3Q	32,577,636 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 事業等のリスク	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
販売及び受注の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済政策及び金融政策に伴い円高の是正が進むとともに、世界経済の持ち直しもあり各種経済指標が好転する等景気は緩やかな回復傾向となりましたが、一方で貿易収支の赤字拡大や原材料価格の上昇傾向等が懸念される状況となっています。

当社グループを取り巻く事業環境は、造船事業では主にバルクキャリアーの海運マーケットが改善傾向となる中で船主の発注意欲が高まりましたが、船腹の需給ギャップは依然として大きいことから船価の回復は緩慢な儘推移する等厳しい状況が続きました。かかる状況下市場ニーズに即したトップクラスの省エネ性能を誇る60千重量トン型「スプラマックス」バルクキャリアーを開発し、受注及び内定を果たすとともに、既存船型の省エネ改善も実行し、更に市場ニーズに応えるべくポストパナマックス・バルクキャリアーの開発にも着手しました。別途、船舶技術力の向上に資するため、国内造船会社4社等で設立された共同技術研究会社である株式会社マリタイムイノベーションジャパンに参画し本格的な活動を推進しました。

陸上事業及びレジャー事業では民間設備投資の増加傾向に的確に対応し積極的な受注活動に努めるとともに、顧客ニーズに即した新商品の開発にも努めました。両事業は当社グループの「第2のコア事業」として収益拡大を経営目標に掲げていますが、当該収益拡大策の一環として、レジャー事業においてオーストラリア・メルボルン市における南半球最大の観覧車を取得し、平成25年12月に営業を開始しました。更に当該観覧車事業の円滑運営を図るため運営人材の管理会社を買収するとともに、運営を委託しているマネジメント会社の事業資産を譲受けることとし、平成26年1月31日譲渡契約を締結しております。また機械式駐車装置事業を営むサノヤス・エンジニアリング株式会社は当該事業の基盤拡充と収益の拡大を図るため、古河産機システムズ株式会社の機械式駐車装置事業を承継することとし、平成26年1月24日に吸収分割契約を締結しました。なお、吸収分割契約の効力発生日は平成26年4月1日の予定です。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は建造隻数の減少もあり前年同四半期比12,194百万円減少の33,133百万円となり、営業利益は前年同四半期比3,002百万円減少の2,222百万円、経常利益は前年同四半期比3,174百万円減少の2,200百万円となりました。四半期純利益は前年同四半期比1,381百万円減少の1,029百万円となりました。

なお、当社グループは受注産業の事業の特性から、四半期業績が年度決算に必ずしも連動いたしません。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①造船事業

造船事業においては円高の是正傾向にあるものの依然厳しい状況が続いている事業環境下で、省エネ型バルクキャリアーに対する需要の高まりつつある状況と、2年半から3年程度の受注残高を確保する方針のもとに営業活動に努めた結果、82千重量トン型パナマックス・バルクキャリアー及び新規開発した60千重量トン型スプラマックス・バルクキャリアー等6隻の受注と3隻の内定を確保いたしました。その結果当第3四半期連結会計期間末の受注残高は61,213百万円となりました。

(内定分は含んでおりません)新造船の引渡しは78千重量トン型及び83千重量トン型パナマックス・バルクキャリアーの4隻であり修繕船等を加えた当該事業の売上高はリーマンショック後に受注した新造船が売上計上となったこと及び建造隻数の減少等により前年同四半期比10,055百万円減少の24,473百万円となり、連れて営業利益は前年同四半期比2,815百万円減少の3,074百万円となりました。

②陸上事業

陸上事業においては顧客ニーズに対応した積極的な受注活動に努め、化粧品製造用機械製造をはじめ各事業とも着実な受注残高の増加を果たした結果、当第3四半期連結会計期間末の受注残高は2,874百万円となりました。売上高は化粧品製造用機械製造や環境工事等が前年に比し大口案件の計上がなかったこと等から前年同四半期比1,783百万円減少の5,773百万円となりました。連れて営業利益は前年同四半期比585百万円減少の90百万円となりました。

③レジャー事業

レジャー事業においても遊園地ニーズに対応した営業活動に努め、観覧車等の受注により当第3四半期連結会計期間末の受注残高は767百万円となりました。売上高は一部遊園地の遊具を遊園地オーナーに売却したこと等から前年同四半期比322百万円減少の2,695百万円となりました。営業損益はメルボルン観覧車の補修費用が悪天候の連続から工事期間が延びたこと等により保証工事費用が追加となり、また観覧車取得に伴う諸費用の発生と開業資金も先行したこと等から542百万円の営業損失となりました(前年同四半期は963百万円の営業損失)。

④その他の事業

ソフトウェア開発等を行うその他の事業においては新規システムの開発、営業に注力しましたが、厳しいシステム投資環境から売上高は前年同四半期比32百万円減少の191百万円となり、営業損益も前年同四半期比21百万円減少し10百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて5,691百万円減少し、41,398百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が6,379百万円増加したものの、現金及び預金が12,099百万円、繰延税金資産が679百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて5,121百万円増加し、27,485百万円となりました。これは主に、有形固定資産が3,903百万円、投資有価証券が1,376百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて3,709百万円減少し、27,554百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,451百万円、保証工事引当金が1,314百万円、未払法人税等が812百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,419百万円増加し、23,416百万円となりました。これは主に、長期借入金が749百万円、繰延税金負債が653百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,719百万円増加し、17,913百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が946百万円、利益剰余金が866百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては従来予想通り、売上高は470億円、営業利益は11億円、経常利益8億円、当期純利益1億円を見込んでおります。

(4) 事業等のリスク

平成25年3月期決算短信6ページ記載の『「事業等のリスク」6)製品の保証について』において、メルボルン観覧車に対する保証工事について発注主からの損害賠償請求等発生可能性がある旨言及していましたが、同施設および事業の取得と同時に発注主との間で当該請求権の放棄を内容とする契約を締結したため、当該リスクは解消しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結累計期間より、Sanoyas Rides Australia Pty Ltdを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,712	15,612
受取手形及び売掛金	14,821	21,200
商品及び製品	159	158
仕掛品	1,069	1,457
原材料及び貯蔵品	549	575
繰延税金資産	694	15
その他	2,103	2,404
貸倒引当金	△19	△24
流動資産合計	47,090	41,398
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	3,568	6,097
土地	5,060	5,739
その他(純額)	7,530	8,226
有形固定資産合計	16,160	20,063
無形固定資産		
ソフトウェア	587	613
その他	48	48
無形固定資産合計	636	661
投資その他の資産		
投資有価証券	4,311	5,687
長期貸付金	93	78
繰延税金資産	230	217
その他	1,178	956
貸倒引当金	△246	△179
投資その他の資産合計	5,567	6,760
固定資産合計	22,363	27,485
資産合計	69,454	68,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,388	8,937
短期借入金	7,054	7,140
1年内償還予定の社債	30	30
未払法人税等	886	73
前受金	7,210	7,094
賞与引当金	420	107
保証工事引当金	1,903	589
受注工事損失引当金	2,051	1,783
その他	1,318	1,799
流動負債合計	31,264	27,554
固定負債		
社債	30	—
長期借入金	15,241	15,991
退職給付引当金	4,241	4,247
役員退職慰労引当金	95	—
資産除去債務	450	436
繰延税金負債	1,730	2,384
負ののれん	58	43
その他	147	313
固定負債合計	21,996	23,416
負債合計	53,260	50,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538	2,538
資本剰余金	727	727
利益剰余金	10,999	11,866
自己株式	△5	△5
株主資本合計	14,259	15,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,068	2,014
繰延ヘッジ損益	△2	△80
為替換算調整勘定	—	△20
その他の包括利益累計額合計	1,066	1,913
少数株主持分	867	873
純資産合計	16,193	17,913
負債純資産合計	69,454	68,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	45,328	33,133
売上原価	37,013	27,551
売上総利益	8,315	5,582
販売費及び一般管理費	3,091	3,360
営業利益	5,224	2,222
営業外収益		
受取利息	7	15
受取配当金	50	57
貸倒引当金戻入益	154	14
為替差益	83	78
未払事業所税戻入益	58	—
その他	87	137
営業外収益合計	442	304
営業外費用		
支払利息	245	260
その他	46	65
営業外費用合計	292	325
経常利益	5,374	2,200
特別利益		
固定資産売却益	4	67
特別利益合計	4	67
特別損失		
投資有価証券評価損	126	—
減損損失	16	41
固定資産除却損	29	5
固定資産売却損	0	20
その他	1	—
特別損失合計	174	67
税金等調整前四半期純利益	5,204	2,199
法人税、住民税及び事業税	2,026	318
法人税等調整額	753	857
法人税等合計	2,780	1,176
少数株主損益調整前四半期純利益	2,424	1,023
少数株主利益又は少数株主損失(△)	12	△6
四半期純利益	2,411	1,029

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,424	1,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	958
繰延ヘッジ損益	△55	△78
為替換算調整勘定	—	△20
その他の包括利益合計	△22	859
四半期包括利益	2,401	1,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,390	1,876
少数株主に係る四半期包括利益	10	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,529	7,557	3,017	45,104	223	45,328	—	45,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	23	2	35	263	298	△298	—
計	34,539	7,580	3,019	45,139	487	45,627	△298	45,328
セグメント利益又は損失(△)	5,889	675	△963	5,600	11	5,611	△387	5,224

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額387百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用384百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円及びセグメント間取引消去4百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,473	5,773	2,695	32,942	191	33,133	—	33,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	38	0	—	39	114	153	△153	—
計	24,512	5,774	2,695	32,981	305	33,287	△153	33,133
セグメント利益又は損失(△)	3,074	90	△542	2,622	△10	2,611	△389	2,222

- (注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額389百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用394百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円及びセグメント間取引消去△5百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

【販売及び受注の状況】

セグメント別売上高

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
造船事業	34,529	76.1	24,473	73.9
陸上事業	7,557	16.7	5,773	17.4
レジャー事業	3,017	6.7	2,695	8.1
その他の事業	223	0.5	191	0.6
合計	45,328	100.0	33,133	100.0

受注状況ならびに受注残高

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
造船事業	4,964	59,848	20,379	61,213
陸上事業	4,037	2,067	5,131	2,874
レジャー事業	650	375	1,329	767
その他の事業	253	62	272	93
合計	9,905	62,353	27,113	64,949

(注) 当第3四半期連結会計期間末の造船事業における新造船の受注残高金額は工事進行基準で記載しており、受注残高隻数は、引渡しベースで22隻であります。